



2019年3月期 第2四半期決算概要

2018年10月31日
メタウォーター株式会社

地震、台風、豪雨などにより被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

皆様の安全と被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

なお、これらの災害による業績への影響はありません。

<セグメント情報>

- プラントエンジニアリング事業(略語:PE事業)国内EPC事業、海外事業
当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- サービスソリューション事業(略語:SS事業)国内O&M事業、国内PPP事業
当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

<略語>

EPC	Engineering, Procurement and Construction: 設計・建設
O&M	Operation and Maintenance: 運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership(公民連携): 公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative: 公共施設の設計・建設、運転・維持管理、運営、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate: 公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法

I 2019年3月期第2四半期ハイライト
および2019年3月期業績予想修正

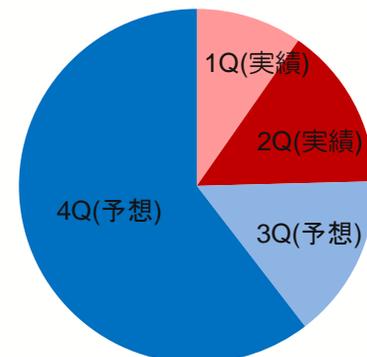
II 2019年3月期第2四半期決算概要

'19/3期2Q決算ハイライト(連結)

* 売上高・利益

国内EPC事業が好調に推移したことに加え、粗利率の改善やコスト削減効果などにより、2Q累計の売上高・利益は前期に比べ大幅改善。

'19/3期四半期別売上構成



* 受注高

PPPをはじめ大型案件が集中した前2Q累計に対し、当2Q累計は案件構成の違いで例年並みの水準。

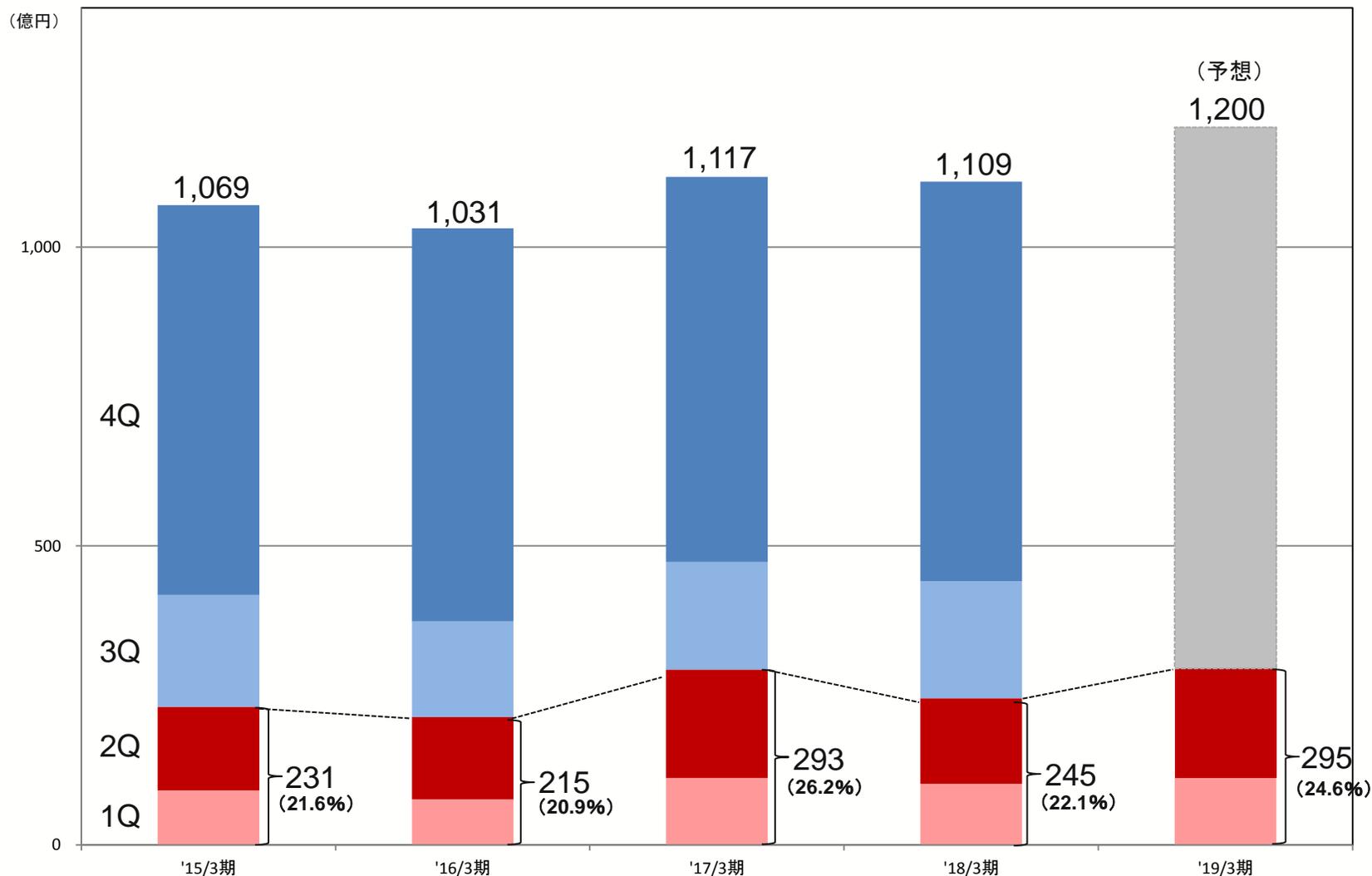
将来の売上に繋がる受注残高は高水準を持続。(参考)'18/3期2Q末1,549億円 ⇒ '19/3期2Q末1,658億円

(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	中間配当(円)
'19/3期2Q累計実績	594 前期比: ▲48 ▲7.5%	295 前期比: +50 +20.5%	-37 前期比: +15	-34 前期比: +18	-24 前期比: +12	31
'18/3期2Q累計実績	642	245	-51	-51	-36	29

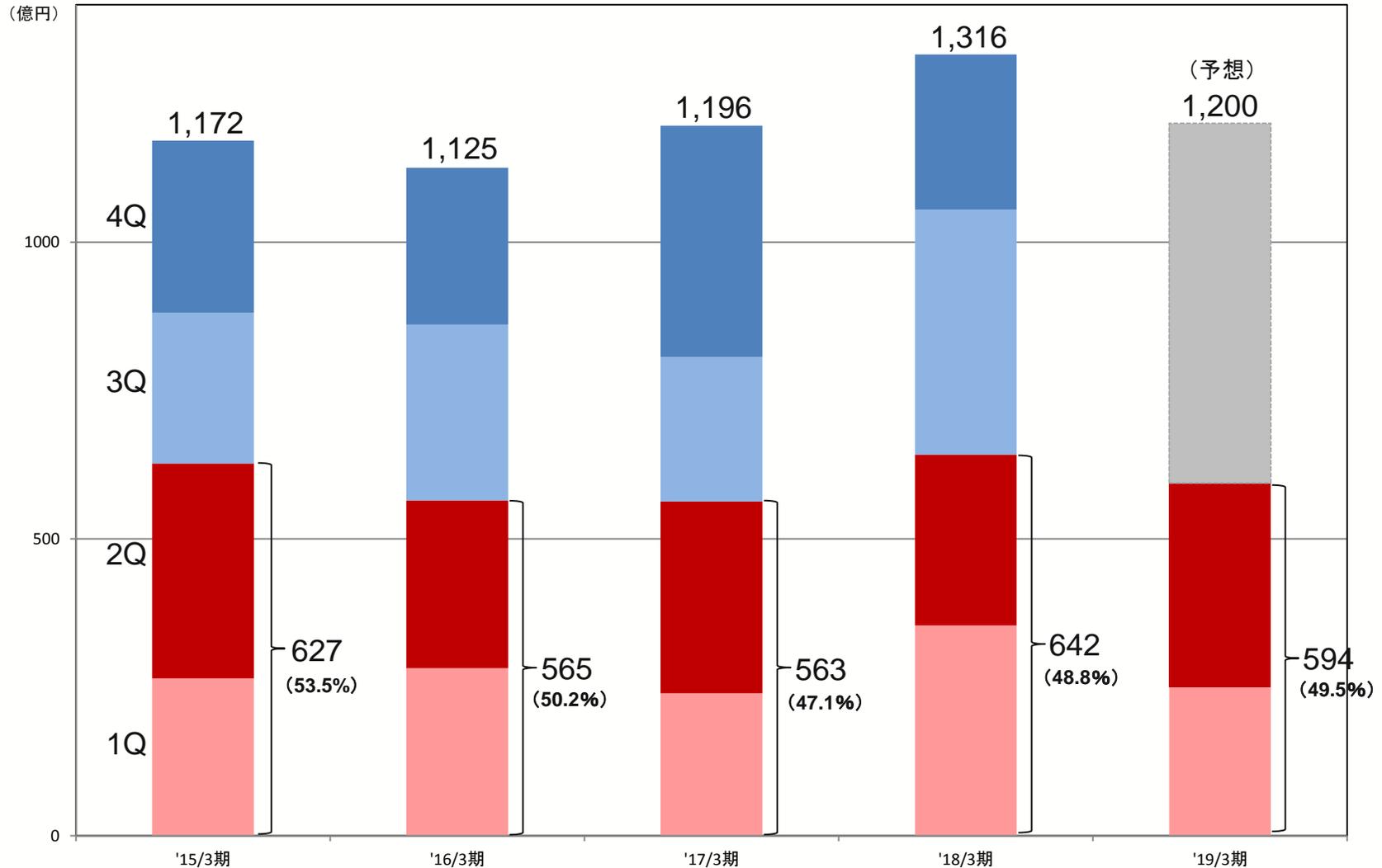
'19/3期2Q 売上高推移(連結)

当社グループの事業は、国内公共事業が大半で、売上・利益が4Qに著しく偏る傾向があり、例年2Q累計の売上高は年間の25%前後。当2Q累計の売上高も例年並みの水準。



'19/3期2Q 受注高推移(連結)

例年2Q累計の受注高は年間の50%前後。当2Q累計の受注高も例年並みの水準。



技術開発・投資

- * 無爆気循環式水処理装置が一般社団法人日本産業機械工業会 第44回優秀環境装置表彰「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞
- * 業界初のLED紫外線処理装置1,200m³/日モデルが、300m³/日モデルに続き「紫外線照射装置JWRC*基準適合認定」を取得（P9参照）
*公益財団法人水道技術研究センター
- * 可搬型非常用セラミック膜ろ過装置の開発に着手（P10参照）
- * 総額10億円を累積上限としたベンチャー企業などへの投資枠を設定し、運用を開始

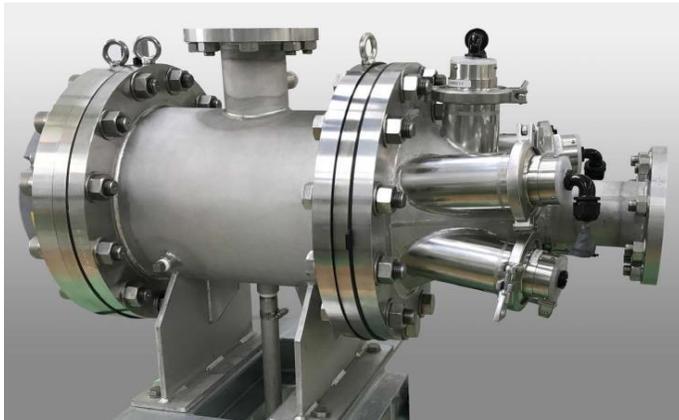
PPPの取り組み

- * コンセプション準備室を設置
- * 3センター構想とBCPメソッド(仮称)の取り組み（P11参照）

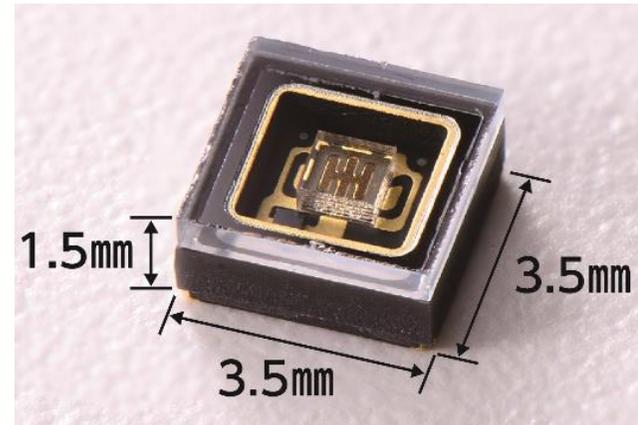
業界初 LED紫外線処理装置1,200m³/日モデル

紫外線LED (UV-LED)を光源に用いた処理水量300m³/日の浄水向け紫外線処理装置に続き、業界初の処理水量1,200m³/日モデルで、JWRC*の「紫外線照射装置JWRC基準適合認定」を取得。

*公益財団法人水道技術研究センター



装置本体イメージ
(画像は処理水量300m³/日モデル)



UV-LEDパッケージ(拡大図)

可搬型非常用セラミック膜ろ過装置

フラッグシップ技術の一つであるセラミック膜を用いた可搬型非常用セラミック膜ろ過装置の開発に着手(トイレ・風呂・洗濯などの生活用水向け)。

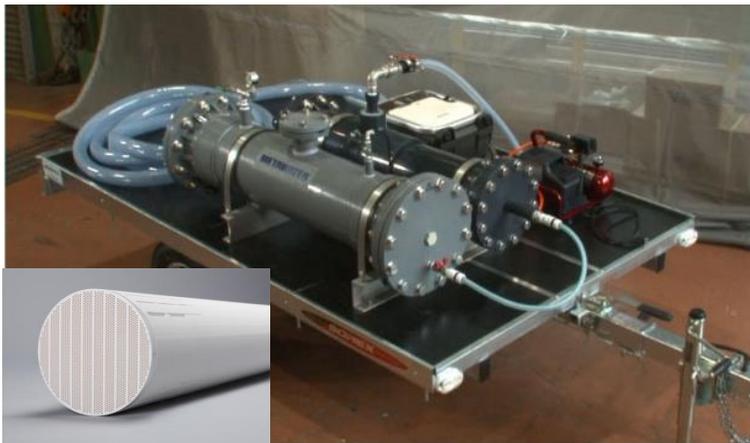
希望の自治体などに無償貸与のほか、非常時の貸し出しに備え当社国内拠点到に配備を計画。

【開発コンセプト】

- ・災害に見舞われた自治体の意見をふまえて開発
- ・短時間で設置が可能
- ・耐久性に優れ、長期保管後も短時間で始動

【性能・仕様】

- ・造水能力:25m³/日(水源水質、造水量による)
- ・装置重量:約120kg(乾燥時)/約170kg(使用時)



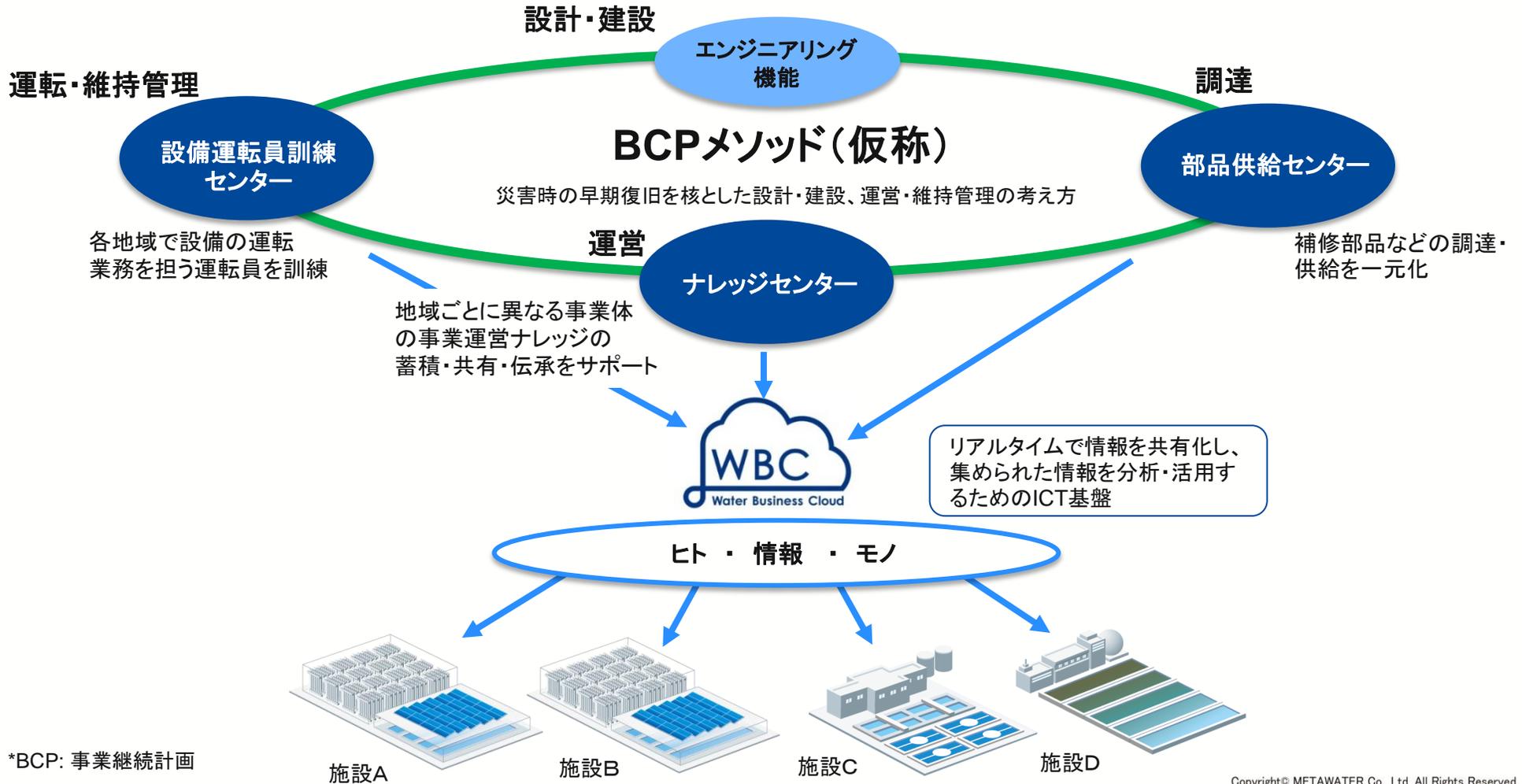
セラミック膜

試作機



車両搭載イメージ

「広域化+包括化」に対応する**マスマリット経営**(スケールメリットを生かした経営)体制の推進に向けたメソッドを開発。



*BCP: 事業継続計画

事業促進活動

- * 「第11回国際水協会 (IWA) 世界会議・展示会」(於: 東京) にスポンサー企業として参加 (P13参照)
- * 「Singapore International Water Week 2018」に出展
- * 北米最大級の水環境展「WEFTEC 2018」に出展
- * 「下水道展'18北九州」に出展
- * 「2018福岡水道展」に出展

CSR活動

- * 子ども向け、一般向け、教員向けに研修や水循環啓発活動を実施
 - ・ 秋田県藤里町 白神山地世界遺産センター(藤里館)で出前授業
 - ・ 一般財団法人経済広報センター主催「教員の民間企業研修」 など

事業促進活動 IWA世界会議・展示会

METAWATER

オープニングレセプション スポンサー挨拶



開催国委員会ビジネスフォーラム
PPPの取り組みを発表



展示会 メタウォーターブース



展示会場内ビジネスフォーラム 各事業責任者が講演



海外事業

「パートナーシップによる
差別化された水処理技術の展開」



プラントエンジニアリング事業

「機電融合を生かした、
公民連携(PPP)本格化時代への対応」



サービスソリューション事業

「地域密着とIoT・クラウドコンピューターなどICTを活用したサービス戦略」



PPP事業

「変化を捉え、民営化・広域化・包括化
を見据えた事業戦略を展開」

'19/3期通期業績予想修正(連結)

* 受注高、売上高は、期初予想に沿って推移する見通し。

* 一方、利益については、粗利率の改善やコスト削減の進展などにより、営業利益、経常利益親会社株主に帰属する当期純利益ともに当初予想を上回る見通し。

→ **通期業績予想を修正**

(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	配当
当初発表予想 (4月25日付)	1,200	1,200	70	69	47	181.30円	年間62円
今回修正予想	1,200	1,200	72	71	48	185.20円	年間62円
増減額	-	-	+2	+2	+1	-	-
増減率	-	-	+2.9%	+2.9%	+2.1%	-	-
前期実績	1,316	1,109	67	65	39	151.65円	年間58円

- I 2019年3月期第2四半期ハイライト
および2019年3月期業績予想修正
- II 2019年3月期第2四半期決算概要

Ⅱ 2019年3月期第2四半期決算概要

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント情報
- 3 連結貸借対照表
- 4 連結キャッシュ・フローの状況

連結損益計算書

(億円)

	'18/3期 2Q累計実績	'19/3期 2Q累計実績	増 減
売 上 高	245	295	+50
営 業 利 益	-51	-37	+15
(営 業 利 益 率)	-20.9%	-12.4%	+8.5%
経 常 利 益	-51	-34	+18
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	-36	-24	+12

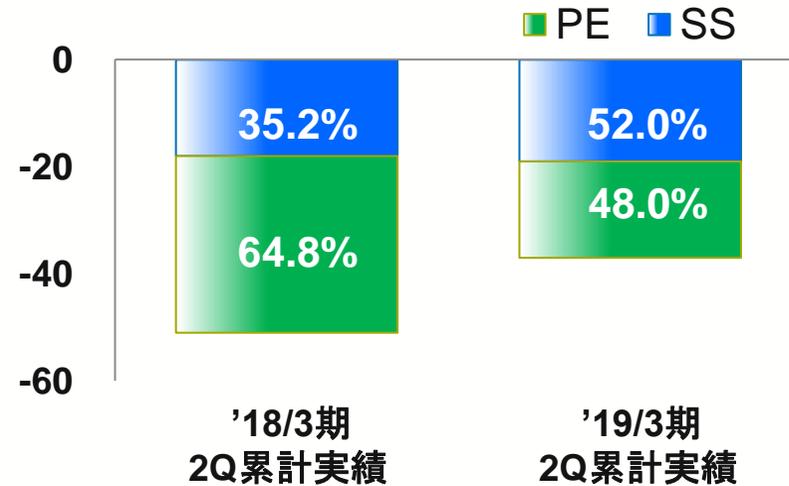
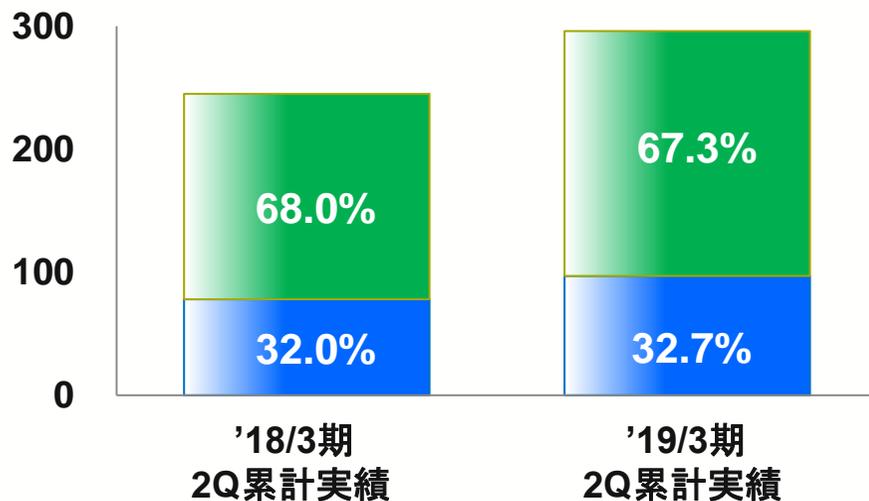
* 10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)

セグメント情報

(億円)

	売上高		
	'18/3期 2Q累計実績	'19/3期 2Q累計実績	増減
PE	167	199	+32
SS	78	97	+18
合計	245	295	+50

営業利益			
	'18/3期 2Q累計実績	'19/3期 2Q累計実績	増減
	-33	-18	+16
	-18	-19	▲1
	-51	-37	+15



連結貸借対照表

(億円)

	'18/3期 期末実績	'19/3期 2Q末実績	増 減
現金・預金	258	365	+107
売上債権	722	341	▲381
棚卸資産	59	154	+94
その他	15	37	+22
流動資産計	1,054	897	▲157
有形固定資産	30	30	▲0
無形固定資産	71	65	▲6
繰延税金資産	36	34	▲1
その他	40	41	+1
固定資産計	176	170	▲6
総資産計	1,230	1,066	▲164

	'18/3期 期末実績	'19/3期 2Q末実績	増 減
買入債務	299	126	▲173
短期借入金 ^{*1}	(8)11	(8)11	+0
前受金	107	174	+67
その他	73	55	▲19
流動負債計	490	367	▲124
長期借入金 ^{*2}	(115)136	(111)132	▲4
その他	53	53	▲0
固定負債計	189	185	▲5
負債計	679	551	▲128
純資産計	550	515	▲35
負債・純資産合計	1,230	1,066	▲164

*1 *2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

連結キャッシュ・フローの状況

(億円)

	'18/3期 2Q累計実績	'19/3期 2Q累計実績	増減
現金・現金同等物の前期残高	234	250	+16
営業キャッシュ・フロー	109	125	+16
投資キャッシュ・フロー	-5	-5	+0
フリー・キャッシュ・フロー	104	120	+16
財務キャッシュ・フロー	-9	-13	-5
現金・現金同等物に係る 換算差額	-0	-0	0
現金・現金同等物の期末残高	329	357	+29

ディスクロージャーポリシー

1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方にのっとり、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ることにより、当社グループに対する理解促進を図り、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法などの諸法令および金融商品取引所の定める規則などにより開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則などにのっとり、情報開示を行います。また、法令や規則などに該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様により有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

3. 情報開示の方法

上記の法令や規則などにより開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則などで定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則などに該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページなどを通じて情報開示を行います。

4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答などを通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見などは、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算(四半期決算を含む)期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見直しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答など差し控えます。

6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標などのうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績などは様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図れるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 CSR推進室 広報IR部

Tel: 03-6853-7317 Fax: 03-6853-8709 E-mail: pr@metawater.co.jp

工事受注(10億円規模以上)

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	該当なし		
2Q	平成30年度猪名川流域下水道原田処理場3系汚泥焼却設備更新工事	大阪府	PE
	南大阪湾岸流域下水道 中部水みらいセンター 2系水処理電気設備更新工事	大阪府	PE
	空見スラッジリサイクルセンター汚泥処理設備工事 (その2)	愛知県	PE
	金町浄水場統合監視制御設備整備工事 (その2)	東京都	PE